



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四三五号）

大寒 だいかん

一月二十日

横丁でアートにひたる

一年で最も寒い、大寒を迎えました。寒い中でも、遠近より伊勢神宮へお参りする方々が引きも切りません。その年に初めて伊勢神宮にお参りすることを「初伊勢」といいます。「初伊勢」の方々が続きます。

おかげ横丁でこれまで以上にアートに触れてもらおうと、山徳記念館が「ART and CULTURE 山徳」としてリニューアルオープンしました。今、開館を記念する展示会が開催されています。

館の奥にある内蔵のギャラリーをはじめとして館内には十九人のアーティストの作品がずらりと並びます。一階の重厚な内蔵を入ると、イラストレーターのマツダケン氏の動物や植物を表現した作品に目が止まりました。淡い色彩で現代アートの世界に引き込まれます。（二月から個展開催の予定）

そして、二階に上がると、俳優・画家の片岡鶴太郎氏、女優の秋野暢子氏、トランペッターの日野皓正氏と著名な方たちの作品が並びます。鶴太郎氏の金魚、秋野氏の花の作品は見ていると幸せな気持ちになりました。秋野氏は作品の売り上げを癌治療に役立てるように寄付をする活動をしているそうです。木工芸家の五十嵐誠氏のテーブルにも惹かれました。白壁の蔵の空間は静かで、ゆつくりとアートを鑑賞することができました。寒い時期にはぴったりとした空間かもしれません。

ギャラリーショップには、参加アーティストたちの版画やグッズが販売されています。カードやクリアファイル、タオル、一筆箋、カレンダーと求めやすいものが並び、お気に入りの作品のグッズを手にするのも楽しいです。また、陶芸家の食器類も、新年に新しくしたり、また贈答用にしたりしても最適だと思えました。開館企画展はART and CULTURE 山徳で二月二日まで開催されています。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 新春郷土芸能

● 浜田大山車の舞獅子

四日市旧南濱田地区に伝わる舞獅子は諏訪神社の祭礼「四日市祭」で奉納された4両あった大山車（おおやま）の上で舞われていた獅子舞の一つです。
巨大な山車「大山車」の上や、氏子の家の前などで家内安全、商売繁盛を願って舞います。
2008年に、四日市無形民俗文化財に指定されました。

日 時／1月26日(日) 13:00～

場 所／おかげ横丁内「太鼓櫓」※9:30～各店にて門付けを行います。

○ 節分の市

二月二日の節分の日、二十四節気における“春の始め”「立春」の前日。旧暦では、立春を一年の始まりとし、節分は現在の大晦日と同じように考えられていました。

日 時／1月25日(土)～2月2日(日) 10:00～17:00

場 所／おかげ横丁一帯

※雨天の際には、主催者の判断により中止となる場合がございます。

● 子供鬼やらい

横丁に現れたいたずら鬼を、子どもたちが豆をまいて追いかけていきます。

日 時／2月2日(日) 11:00～11:30

場 所／おかげ横丁一帯

● 宝舟豆まき

今年の福人（年男・年女）が、「宝舟」の絵と豆が入った小袋（3,000袋）を太鼓櫓の上から降らせます。宝舟の絵は、節分（旧暦の大晦日）に枕の下に敷いて寝ると良い夢を見ることができ、それが現実になると伝えられています。

日 時／2月2日(日) 15:00～

場 所／おかげ横丁「太鼓櫓」周辺

お問い合わせ／おかげ横丁 総合案内「おみやげや」 電話 0596-23-8838

五十鈴塾

○ かまどのごはんを楽しむ

かまどを使っての食事作り体験です。薪に火をつけ、火吹き竹で火力を上げ米を炊きます。炊きあがったごはんは各自で塩むすびに。味噌汁づくりもかまどで挑戦、七輪で干物を焼きます。素朴な昼食ですが、ごはんはつやつやピカピカ、一粒一粒がたっています。炭火で焼いた干物は外がパリッとして中は柔らかくとても美味しい。
薪の燃える音、ごはんや干物の香り、特におこげの香ばしい香り、燃える火の美しさ、五感で味わう講座です。

日 時／1月29日(水) 11:00～13:00

参加費／一般 3,000円 会員 2,500円（材料費含む）

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

ふく
福

まめ
豆

立春を迎える節分の豆まき。煎った大豆を福豆といいます。お多福豆の餡で白餡を包み、節分にちなんだお菓子に仕上げました。

かん
寒

ぼ
牡丹

たん
丹

雪が舞う中、凛と咲く姿が印象的な寒牡丹。白餡の練り切りでその美しさを表現しました。

ふき
落

の

どう
臺

雪の下から若芽を吹かせ、冬の終わりを教えてくれる落の臺を洋酒が香る黄身しぐれで表現しました。